

関西 EAC 第431回例会のご案内

■ テーマ 解析を極める

■ 日時 2011年4月22日(金)09:45～16:55

■ 場所

富士ゼロックス株式会社(大阪市)Document CORE Osaka

[地図参照](#)

■ 交通手段

地下鉄御堂筋線 本町駅下車3番出口上ル

■ 備考

例会担当幹事:金田氏(コマツ) 副幹事:藤本氏(ササクラ)

スケジュール

9:45～10:00	事務局連絡事項 会長挨拶
10:00～10:50	研究発表1 『設計に活かせるCAE』 コマツ 3Dイノベーショングループ 技師 玉川 知樹氏 CAEは設計理論を裏付けるツールであり、知らない事・答えを出してくれるものではないし、実測を忠実に再現してくれるはずもない。上手なCAEの活用の取り組みについて発表します。
11:00～11:50	研究発表2 『設計者CAEの8つのポイント』 株式会社キャドラボ 取締役 栗崎 彰氏 設計者向け解析ソフトの操作はますますカンタンになり、解析結果がすぐに得られるようになりました。その解析結果についての8つの質問に答えられなければ、その解析結果は信じてはいけません。解析結果をレビューするための8つのポイントをご説明します。この8つのポイントは、管理者と設計者の解析レビューのプロトコルとなります。
11:50～12:50	昼食 休憩
12:50～13:50	研究発表3 『家電商品開発におけるCAE活用について』 パナソニックホームアプライアンス社 技術本部 開発プロセス革新G 森脇 信康氏 現在、海外展開する際にも3DCADデータの共有化が進んでいるが、工学原理という共通言語で、設計意図を論理的に伝える手段として、CAEの重要性が増してきており、設計完成度を高めてこそ、海外でのモノづくりが進むという視点を紹介していただきます。
13:50～14:40	デバイス発表 『ツールは、100%じゃない。だから、設計者と共に成長するツールを目指す』 ソリッドワークス営業技術部シミュレーション課 課長 大澤 美保氏 有限要素法によって導かれた数値理論上の解に到達したとしても、残念ながら設計者であるあなたの「次の一手」を自動的に導き出してくれるわけではありません。一方で、万能でないツールとわかっているからこそ「うまく」つきあって成果を出していっしゃるお客様がいらっしゃいます。お客様事例を交えながら3次元データ活用の現状をご紹介します。
14:40～14:50	休憩
14:50～16:50	ディスカッション テーマ:『解析技術と設計的思考(案)』 <パネリスト予定> ・コマツ 3Dイノベーショングループ 玉川 知樹氏 ・株式会社キャドラボ 栗崎 彰氏 ・パナソニックホームアプライアンス社 森脇 信康氏 ・ソリッドワークス株式会社 大澤 美保氏 <司会予定> ササクラ 藤本 修一 氏
16:50～16:55	関西EACからのお知らせ 連絡事項 石岡副会長
17:30～19:00	懇親会 企画中